

第4回北区立中学校部活動地域連携検討会議
会議録

日 時：令和7年2月27日（木）午後6時30分～午後7時21分
場 所：北とぴあ スカイホール

1. パブリックコメント実施結果について
 - (1) 主なご意見について
 - (2) 計画（案）の修正箇所について

2. 計画の策定までのスケジュールについて

令和7年3月19日 パブリックコメント実施結果を公表

26日 教育委員会に「北区立中学校部活動地域展開等推進計画」を付議
(議決を経て策定)

3. 令和7年度の予定

4. その他報告事項

<配付資料>

- ・（資料1）「北区立中学校部活動地域展開等推進計画」の計画（案）に関する
パブリックコメント実施結果
- ・（資料2）「北区立中学校部活動地域展開等推進計画」の計画（案）
パブリックコメント実施時点
- ・（資料3）「北区立中学校部活動地域展開等推進計画」（最終案）

出席者 東京藝術大学演奏藝術センター准教授
東洋大学健康スポーツ科学部スポーツ科学科講師
中学校長会代表（稲付中）
中学校体育協会専務理事
東京都北区体育協会専務理事
スポーツ推進委員王子地区会長
北区文化振興財団事務局長
北区立中学校PTA連合会会長
東京ヴェルディ株式会社女子事業推進部ディレクター
城北信用金庫コミュニケーション開発事業部 スポーツディレクター
／城北アスリートクラブ
P a l e t t e W o r k s L L C代表

事務局 教育振興部長
教育振興部参事【検討会議運営・計画策定担当】
学校支援課長【部活動指導補助員担当】
生涯学習・学校地域連携課長【地域主体の部活動担当】
教育指導課長【学校主体の部活動担当】
(他、事務局担当者)

質疑応答

○会長

皆さん、こんばんは。お久しぶりです。

まだ1人、いらしてないということなんですけれども、定刻となりましたので始めさせていただきます。

本日最終回ですね。1年間、どうもありがとうございました。本日の会議では推進計画（案）のパブリックコメントの結果について、皆様から意見を頂戴したいと思います。

まず、配付資料の確認です。事務局のほうからお願いします。

○事務局

本日の配付資料でございます。

まず、一番最初に次第に書いております、配付資料3点が今回の会議の資料になります。

1点目が資料1のパブリックコメントの実施結果をまとめたものになります。2点目が資料2のパブリックコメント実施時点からの修正箇所の一覧になります。最後、資料3が計画の最終案となっております。そのほかに机上に配付させていただいております、選挙の女神様というチラシです。

以上です。もし、書類に不備等ございましたら、ご用意させていただきますので、お気づきの際はお知らせくださいますようお願いいたします。

○会長

それでは次第に沿って進めさせていただければと思います。

初めに1、パブリックコメント実施結果についてです。こちらを事務局から説明をお願いします。

○事務局

まず、（1）主なご意見についてというところになります。右側に資料1と書かれた横向きの資料をお出しいただきますよう、お願いいたします。

前回の会議のときにアナウンスをさせていただきました、計画のパブリックコメントの実施結果が今回出ましたので、皆様にご報告させていただきます。

まず1、パブリックコメントの概要のところです。意見募集期間については、今年の12月10日から今年1月15日まで実施いたしました。

意見提出者数は44名、うちホームページからの提出者が43名、窓口が1名になります。

意見の総数としては123件となります。類似の意見はまとめて記載させていただいております。

周知方法は北区ニュースとホームページやSNSを通して周知をいたしました。

今、提出された意見の趣旨及びそれに対する区の考え方について、抜粋して説明させていただきます。

まず、一番大きなところについてなんですが、1 ページ目のナンバー2のところです。地域連携と地域移行は区別したほうがよいのではないかという意見がいくつかありました。今まで、国は部活動の改革について地域連携と地域移行という言葉で説明してきました。北区では両者を合わせて地域連携としていました。しかし、昨年12月10日に国の会議があり、今まで地域移行という表現をされてきた部分については、学校と地域が区別されているように捉えられてしまうことがあるので、地域全体で支えていく在り方をより明確に示すために、今後は地域移行の部分を「地域展開」と変更していく方針が出されました。また、地域連携と地域移行をまとめて「地域展開等」とされました。これを受けて北区でも、今後は「地域展開」と記載していくことになりました。

その他、いろいろな意見いただきまして、言葉の使い方については幾つか修正させていただきました。

また、実際に具体的にこうしてはどうかという形で、運営方法等について、多数ご意見をいただきました。計画に反映したものもあれば、今後の生徒への募集案内ですとか、運営する自治体の方法に活かしていくという形で、かなり有意義なご意見を多数いただいたというふうに捉えております。

そのうち一つをご紹介しますのですが、13ページのナンバー50です。関係者との関係の構築に関してご意見をいただきました。今後、区としていろんな地域の関係者との関係の構築は大きな課題となります。その中で、意見交換の場等の開催やフィードバックを取り入れた改善のサイクルを明確化など有意義なご意見をいただきました。今後、具体的な運営に関するご意見として、参考にさせていただければと思っております。

続いて、おめくりいただきまして15ページです。

区の考え方を示しているところではないのですが、実際に計画策定後、事業を進めていく段階でのご意見をこちらにまとめさせていただいております。地域クラブ活動として担っていきたいというようなご意見も多数いただいております。意識が高い方が多くいらっしまったというふうに感じました。

私からは以上です。

○事務局

それでは、次第の1の(2)、計画(案)の修正箇所についてご説明させていただきます。

先ほどご説明させていただいた内容を、右肩に資料2とあります横長の資料でご説明させていただきます。

修正前と修正後の内容を並べた表の資料となっておりますので、まず表の右側が修正前のもの、表の左側が修正後のものとなっております。見比べながらご参照いただければと思います。

それでは主立ったものをご説明させていただきます。

まずは1ページ目にあります修正内容につきましては、表紙裏書きにて地域展開等に係る言葉の整理について、こちらのとおり、修正しております。

次に裏面の2ページにお進みください。

2ページでは「はじめに」というところを全体的に追記しております。パブリックコメントの際には、「はじめに」というのは載せていなかったもので、こちらは意識を新たに追記したと。ただ、「はじめに」の内容につきましては、前回の検討会議においてお示した案のものから変更はございませんので、内容に影響はありません。

ページを進んでいただきまして、次の3ページですね。表の下段にあります部員数の人数の多い種目の表、こちらに人数を追記いたしました。部活ごとの人数が新たに掲載された計画になっているということでございます。

ページ、次に進んでいただきまして、4ページをお願いいたします。

4ページ、そして次の5ページと続きまして、こちらでは主に先ほどの地域展開等という言葉について表記を改めております。

5ページ、さらに進みまして6ページ目までお進みください。最後のページでございます。

6ページ目にも記載した箇所におきまして、主に地域展開等というところの表記を改めております。

これまで6ページにわたって修正内容を記載させていただきまして、それらの修正内容を全て反映したもの、最終的な計画（案）というものが資料3、冊子でお配りしておりますカラーの表紙がついた資料3の北区立中学校部活動地域展開等推進計画（最終案）というところにまとまってお配りさせていただきましたので、全体的なイメージを含め、ご確認いただければと思います。

事務局からの説明は以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質疑、ご意見等がございましたらお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

いいですか。ここには来年度から何を増やすか、増やさないかとか、そういうのは具体的に何か書かれているんでしたっけ。

○事務局

こちらについては今後、まだ来年度、どの種目を入れるかということは決まっておりますので、明確には記載はしていないんですけれども、アンケートの集計結果を示させていただいておりますので、生徒のニーズが高い種目についてはこちら把握させていただいておりますので、こちらを参考に今後検討させていただければと思っております。

○会長

ありがとうございます。こちらも踏まえて、ご意見等をお願いします。

(なし)

○会長

特にございませんようでしたら、次に進みたいと思います。

次に議題の２、計画の策定までのスケジュールについてと３、令和７年度の予定に入らせていただきます。事務局からご説明をお願いします。

○事務局

それでは私のほうから２、計画の策定までのスケジュールについてご説明いたします。

次第にお示しのとおり、令和７年３月１９日にパブリックコメントの実施結果を公表いたします。意見募集時と同様、区政資料室、地域振興室、図書館、教育政策課、北区ホームページにて閲覧可能となります。その後、３月２６日の教育委員会にて、北区立中学校部活動地域展開等推進計画を付議いたしまして、教育委員会での議決をもって策定されます。

その後、その策定をもって、この会議体は終了となります。今後、令和７年度につきましては、担当が生涯学習・学校地域連携課へ移りまして、事業者選定、協議会の開催等を予定しております。

私からは以上でございます。

○事務局

それでは、私のほうから令和７年度予定といたしまして、地域が主体となって実施している部活動、いわゆる地域クラブ活動についての予定をご報告させていただきます。

今まで推進計画を策定していく中で、様々なご意見、ご要望をいただきましてありがとうございます。この推進計画が定まってまいりました。今後は地域クラブ活動をお願いする地域主体の選定を進めてまいります。選定に当たっては検討会で検討してきた内容や部活動の地域展開の趣旨、さらに先ほど報告させていただきましたパブリックコメントの結果を十分に踏まえまして、公募、いわゆるプロポーザルにて選定を行い、進めてまいります。

また来年度は実際に、運動部１部活、文化部１部活の導入を目指してまいりますが、導入に当たっては現時点ではまだ検討してございますけれども、有識者を中心に校長会、ＰＴＡ、スクールコーディネーター等、学校関係団体の代表をメンバーとしました協議会を立ち上げ、ご意見をいただきながら選定する予定でございます。

実施回数でございますが、年２回程度を想定するところでございます。

今後の予定といたしまして、本日お出ししました推進計画、こちらを踏まえまして、協議会の議決をもって、３月にはプロポーザル審査委員会の設置要綱を制定します。そして、新年度５月にはプロポーザルが実施できるよう準備を進めていく予定でございます。

プロポーザル終了後は速やかに事業者との調整に入りまして、学校、保護者、地域等への説明を進めまして、１０月には運動部１、文化部１という形で、地域クラブ活動

の運用を始める予定でございます。

なにぶん、手探りで始める新規事業でございます。引き続き、皆様のお力をいただきながら地域クラブ活動の導入を進めたいと考えておりますので、令和7年度も何とぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

それではただいまの説明について、質疑等あればよろしくお願いします。

○委員

今、プロポーザルで公募という形で選定しますという話を聞きましたけれども、事前の説明を丁寧にしてもらえればというふうに思うんですね。

プロポーザルになりますと、プロポーザルのノウハウを非常に持っているところと、そうでないところがありまして、要するに見せ方がうまいところ選ばれてしまうという、そういうことがあるというふうに思っています。ですので、特にスポーツ団体、こういったことにあまり慣れてないところが多いので、希望された場合に、その辺の事前の相談等があった場合には、受けていただければと思います。

不公平が出てはいけないわけなんですけれども、その辺はこういうことを説明しましたということを公表すれば、ほかに希望されているところもそれが分かるようにしてもいいのかなと、いろいろやり方を考えていただければと思うんですけれども。今、言いましたとおり、プロポーザルに慣れてないところが実質的にいいものがあったても、選ばれないようなやり方は気をつけていただきたいというのは一番の趣旨です。

それともう一つは、地域の人材なり組織なりを使っていこうという考え方があると思っておりますので、そのために地域のよさを引き出すような視点というのでしょうか。そういう形での選び方といいますか、その辺、気をつけていただければありがたいと思っています。

営利を目的としているようなところですか、そういったところだと、地域性があまりないところがあるかもしれませんので、その辺は今後の条件がどういうふうになるかはまだ見えませんので、何とも言えませんが、今のような点を十分考慮していただいて。これは体育系にしる、文化系にしる、その辺は配慮いただければというふうに考えております。

以上です。

○会長

ありがとうございます。事務局のほうで、何かそういう事前の説明とか、何かご予定ありますか。

○事務局

事前の説明ですが、区内のそういった主体の方々には一応事前情報として、こういう

ことをやりますというのは伝えている状況でございます。詳しくは申し上げられませんが、何件かの団体にご説明して、ご理解いただいている状況でございます。

あともう一点、今後のプロポーザルに当たっては、当然、いろんな団体が手を挙げられるように配慮してまいりたいと考えてございますし、事業者、いわゆる先ほど申し上げた見せ方ですとか、ちょっとそれもあるんですが、ご意見いただいた地域性ですとか、あるいはこういった施設を持っていच्छやるか、こういったところを改善するか等々、総合的に判断して、子どもたちによりいい形での業者選定をしたいと思っています。業者と断定しますと誤解を受けますが、そういった地域団体のほうも受け入れたいと思っていますので、そこについては柔軟に検討していきたいと思っています。

以上でございます。

○事務局

会長、すみません。

○会長

お願いします。

○事務局

地域人材のところでございますけれども、これは前々回だったでしょうか。ご意見をいただいたところでございます。この計画案に記載のとおりでございますけれども。すみません、ちょっと今日はお配りはしていないので読み上げますけれども、地域連携の在り方というふうなページの中で、地域における多様な人材や様々な世代との交流が促進され、地域のさらなる活性化と、生徒の豊かな人間性や創造性の涵養を図るというようなくだり、表現も入れてあるところでございます。地域との交流で新たな価値の創出というようなところ、これをポイントとしているという部分もございますので、十分留意しながら、選定については行っていきたいというふうに考えてございます。

○会長

ありがとうございます。

私自身も申請書とかよく書かなければいけない立場なんですけれども、確かに結構テクニックである程度はごまかせてしまうという部分がありますので、そこは事務局のほうでも見守っていく必要があるだろうということと、どういうことを重視しているんだというのを、きちんとそのプロポーザルの中に書ける余地を残していくというのが必要かなと思いました。

ほかにご意見等ありますでしょうか。お願いします。

○委員

今、地域団体へ少しご説明が始められているということなんですが、文化系の団体も

同じでしょうか。お願いいたします。

○事務局

文化系の団体はまだ個別に回ってないような状況でございますけれども、現時点ではこれからというところでございます。

以上でございます。

○委員

分かりました。

○会長

よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

○会長

それでは3番の令和7年度の予定というところは以上ということで、最後に次第の4、その他報告事項になります。事務局のほうから何かありますでしょうか。

○事務局

報告事項は特にございませんので、大丈夫です。

○会長

そうですか。

ちょっと早いですがけれども以上をもちまして、本日の予定の議題は全て終了いたしました。ほか全体を通して何かございますでしょうか。

(なし)

○会長

では、これは事務局から事前にご要望いただいていたんですけれども、本日で検討会が最終回となりますので、各委員一言ずつお話を伺いたいと思っております。

どうしましょうか。

○事務局

マイクをお持ちしますので。

○会長

何か、もう既に言うことあるよという人はいますか。

じゃあ、せっかくなので、今日、このチラシを持ってきてくださった委員からお願いして。

○委員

一言とチラシの説明ですか。

○会長

もちろんです。

○委員

取りあえず、皆さん、今日はお疲れさまでした。

まず、これはあくまでまだ計画なので、多分これから本当に具体的にやっていくと思っています。僕はどちらかというと指導側のほうでもあるので、やっぱりどうやって人材を確保するのかというのもあると思いますが、そこは何かそれぞれの運動部だったり、文化部だったりで、何か全然ジャンルが違えど、そこで少し話合いだとか、どういうふうにしたらいいかというの、そういう意見もあってもいいのかなと思うので、もし何かそういう指導側に集まった人たちでも何か話して、こういう提案がいいのか、いいんじゃないかみたいなそういう場もあれば、また北区で抱えている問題は北区内で解決できるのかな、その一步が見えるのかなと思いますので、そういう場所と時間を今後提供してもらえたらなと思っております。

すみません。ちょっとこちら、今日お配りしたんですけど、僕は地域で展開している部活動の形で、北区AKTSTAGE演劇部といって、北区、北区外の子もいるんですけど、中学生・高校生の芝居を作っています。その発表会が3月28日から30日まで北区豊島のココキタという施設で行います。基本的に無料で行いますし、北区の文化振興財団と共催でやらせていただいているんですけども、基本今回はみんなで選挙について話し合って、その話し合った結果を作品にして公演にしていますので、ちょっと学校ではなかなか政治の話はしづらいというか、難しいと思うんですけども、逆に地域や学校ではない部分もあるので、そういうところにあえて触れて、ちょっとみんなでもう一回選挙だったりとかというのを、ちょっとまだ中学生、高校生、早い子もいるんですけども、今みんなで考えながら作っている最中ですので、どなたでもご覧いただきますので、よろしければご覧いただければと思います。

すみません、長々と。よろしく願いいたしますし、今後もまた令和7年度お世話になる方がいらっしゃるかもしれませんし、僕がいるかどうかは分かりませんが、とにかく北区で子どもたちがちゃんと部活に打ち込める環境ができればなと思っております。お疲れさまでした。

○委員

皆さん、お疲れさまでした。

学校の立場で、私参加させていただきました。あと、子どもたちからすると部活動は三度の飯より大好きだという子どもも当然います。また教員の立場でいくと、教員も

部活動を一生懸命やりたいという教員もいれば、やはり部活動が本当に負担で、負担で、ちょっと大きな悩みの一つだという教員もいたりとかして。そして、また子どもの、もう一つ子どものほうでいくとやりたい部活があったんだけど、今の学校にはなくてなんていうことを考えた子もいますね。地域クラブ活動という形で一つずつ増えていく。そして教員のほうについては部活動指導員さんとか、外部指導員さんという配置とか、お給料も増えていくとか。あと、一生懸命頑張る先生においても、やはり何かしら還元できるような形になっていけばいいのかなというふうに思っています。

本当に子どもたちにとって、心の教育の中で部活動はとても大きなものだと考えていますので、いい形で教員の負担もなく、子どもたちも充実していい形で部活動になっていけばいいなと心から思っています。

以上です。

○委員

1年、ありがとうございました。私も現場の教員を務めていますので、そういった視点でどうしても見てしまっています。

狙いの中で、やっぱり教員の負担軽減というところを、私の意見ですけれどももう少し期待していた部分がありました。ただ、まだ始まっていない段階で、どの程度のイメージが持てるかということも、私自身も分からない部分がありますし、地域の展開ということももちろん、この後大事になってくるかなと思いますので、子どもたちのための部分と、あと先ほども出たように、やっぱり決め方とか進め方をより多くの皆さんに知っていただきながら進めていくということが大事なのかなというのと、やっぱり始まったばかりですから、その都度やはり振り返っていくという方向で、北区の部活動の活動がいい方向にどんどん発展していったほしいなというところがあります。

なかなかちょっと力不足を感じましたけれども、1年間ありがとうございました。

○委員

お世話になりました。体育協会です。

体育協会に所属している会員への説明会等を開いていただきまして、各スポーツ団体、関心はかなり高まっているということで、いい関係になればなというふうに思っております。

それで、先日、朝日新聞にも載っていますけど、やはり、結構いろいろなところで、いろいろな試みが行われているというふうに思っています。単に、学校から地域への移行とか、学校への地域人材の登用とかいうだけに限らず、部活動そのものがさらに発展できれば一番いいなというふうに思ってます。どういうやり方が一番いいのかは、まだ考えていかなきゃいけない。取りあえず、今は移行というだけで精いっぱいかも分かりませんが、やはり子どもたちの可能性をぐっと引き出せるような、そういった活動の展開が望まれているんだろうなというふうに思いまして、それぞれがどういうことができるかを今後も考えていかなきゃいけないと思っています。

ですので、それはある意味、教育委員会だけではなくて、やはり何らかの形でこうい

った会議体で、ある程度この地域移行が安定的にといいですか、ある程度基礎ができた上では、さらなる発展を考えていく必要があるのかなというふうに思っています。

先日、朝日新聞で紹介されているのは、例えばその地域だけでも何か大会を開くとか、それまでになかったようなイベントを部活動の中でやっていくというような、そういったことも可能性としてあるんだと思っていますので、そういった意味で地域展開することによって、今までできなかったことがダイナミックにできるというようなことまで行ければ本当にうれしいなという、そういう夢を持っています。

今回はどちらかというと現実的な動きだけの計画になっても、それはしょうがないと思っています。より夢のある計画がいつの日かできることを願っています。

以上です。

○委員

スポーツ推進委員です。

日頃、北区、王子地区とか赤羽、滝野川等で一般の方々のスポーツをする場を広げている、北区と一緒に共催でやっているんですけども、今回のアンケートについても、やっぱり中学生とか小学生、ちょっとスポーツ方面だけですみませんけども、スポーツに対してやっぱり興味がある子どもたちがたくさんいるということを感じております。

実際に、それを要は大人を中心にスポーツ推進委員として、久しぶりに運動しませんとか、昔やっていたスポーツをもう一度やってみませんかというふうに、いろいろアピールしているんですけども、結構そこは昔バドミントンをやっていた、卓球をやっていた、バスケットボールをやっていたとか、そういう方々が非常に多く参加されています。ここのところの近況からすれば、東十条小学校でバドミントンコートが2面しかないんですけども、63名とか、すごいやっぱりスポーツに対して大人の方でもまだまだ動いてみたい、健康寿命を延ばしていきたいとか、週3日以上運動してみたいなということを、私たちもアピールしてもらってたくさん参加されてくれます。

今の子どもたちも、スポーツ嫌いにならないように今回のアンケートを通じて、これからの部活動の活性化を踏まえて、将来にわたって運動が好きになるような環境を整えていければうれしいなと思っています。

簡単ですが、以上でございます。

○委員

1年間、お疲れさまでした。東京ヴェルディです。

非常に我々のほうも、こういった部活動の地域移行というところで、クラブのほうにもいろいろなご相談が来たりだとかというところは来ておりますが、非常に費用の問題だったり、場所の問題だったり、あとはこのご時世のハラスメントの問題だったりとかも含めて、とても難しい判断をしなければいけないなというふうなところがたくさんあると思っています。

そうした中で、今回いろいろ参加させていただいている中で、我々本当に今北区さんを中心に、いろんな活動の取組をさせていただきまして、特に子どもたちにそういったスポーツトップアスリートの技を見せるところだったりとか、夢を与えるというふうなところは、これからも引き続きやっていこうというふうな思いでやっておりますので、また何かいろいろお力になれることがありましたら、ぜひお声がけいただければと思いますので、引き続き皆さん、よろしくお願いします。

ありがとうございました。

○委員

皆さん、1年間お疲れさまでした。城北信用金庫でございます。

私自身、このプロジェクトに関われた機会をいただいたこと、本当にうれしく思います。そして、今回は部活動の地域移行ということで、教職員の方のいわゆる働き方の改革の本当に難しい問題に関わる一方、それをどう地域に移行させて、またコストの問題ですとか、その他いろんな問題がかなり大分多く残されているかと思います。その部分を、また少し、我々も、このプロジェクトの後に、どうやったらそういった移行をスムーズにできるかということを、もう一度やっぱり振り返る必要があるのかなというふうに思っております。

そして私、仕事柄いろいろ、いろんなアスリートの方、あと元アスリートの方と接する部分があって、この問題を実はお話しすると、意外とやはり興味深い方がとても多くて、しかも若い世代が多いです。20代のアスリートですとか、30代前半でいわゆる引退されたアスリートの方が、この問題にすごく深く関心を寄せています。

実は深掘りしますと自分ならこうしたいとか、実はこの問題を捉えて、こういうちょっと組織体、スキームをつくらうと思っているとか、そういったような方もかなりいらっしゃるんですね。今後はそういった人たちというのは非常に情報発信しておりますので、そういったところをキャッチアップしながら、こういった問題に取り込んでいくとか、その人たちの成果というのはまだ見えないと思うんですけども、そういう部分の情報をうまく活用するとか、そういった部分が今後必要なのかなというふうに思っています。

また、運動部、それから文化部の教職員の働き方が、今後どのような形で変わっているのか、どの程度そういった人たちが救済されたのかという、そういった情報の発信と、あと一方、地域クラブ活動の実態の把握というんでしょうかね。どんな取組がされていった、その結果はどうなったのかという、そういったところも今後見守っていききたいなというふうに思ってます。

そして最後は委員がおっしゃったように、持続化とそれから発展ということ、我々もこれから見守っていききたいというふうに思っております。

以上です。1年間、ありがとうございました。

○委員

北区立中学校PTA連合会の会長です。本日は遅くなりまして、すみませんでした。また1年間、お疲れさまでした。ありがとうございました。

地域移行とか地域連携は国の指針でもあるので進めていかなきゃいけない部分ではあると思うんですけども、PTAというか、保護者としてやっぱり一番は生徒を置き去りにしないで進めてほしいということです。

先日ちょっとある団体の方と話をしていたんですけども、地域連携、地域移行が始まりますと、生徒たちがクラブのほうに来る、来て練習をすることもあるように、今後なるかもしれませんという中で、そういう生徒たちがその場に求めてくるのは楽しく部活動をしたい。でも、地域のクラブの方は、やっぱり技術を教えたい、上達させたい、勝たせたい、そういったところで本当に単純に楽しく部活動をしたいという子たちが来て、果たしてちゃんと教えられるだろうかという、ジレンマも正直ありますというふうに、あるクラブの方はおっしゃっていました。

やっぱり、そういったところを一つ一つ見ていきながら、1年間検証していただいて、しっかりと見ていただきたいと思いますし、先生方も部活動に本当に真剣に取り組んで、熱心に指導していただいている方もたくさんいると思います。あと、なかなか今、子どもたちとコミュニケーションを取る時間がない中で、部活動って比較的学年の垣根を越えて、縦のコミュニケーションだったり、先生たちとのコミュニケーションを一番取れる場でもあると思うので、単純に地域移行、地域連携して部活を進めましょうというのじゃなくて、一つ一つやっぱり検証していただいて、学校でやれる部分、地域でやれる部分、一つ一つ1年間また検証していただいて、また来年以降につなげていただければなと思っています。

以上です。

○委員

北区文化振興財団です。皆さん、1年、ありがとうございました。

まず、もう皆さんがおっしゃられているとおり、今回の目的として、先生方の負担の軽減と、それから生徒さんたちが長く部活、それからやりたいことを続けられる環境をつくるために、どういうふうに制度設計していったらいいかという会に関わったことを本当にありがたく思っているところです。

文化振興財団という立場でいえば、先ほどもお話の出ました、豊島二丁目にあるココキタ、ここが文化活動の拠点となっておりますけれども、合わせて多目的広場、それからコミュニティアリーナという、スポーツもできる環境のところの管理運用を担っている立場からしましても、そこに顔を出すとたくさん子どもさんたち、それから生徒さんたちが集まられているという現状があります。そういった部分で文化振興財団ができることはどういうことなのかなということもちょっと考えさせられました。

ご案内のとおり、ココキタ、ダンスそれから演劇、それから音楽の利用が9割を占めている状況でございますので、環境整備のところでご協力できることがあれば今後とも努めてまいりたいと思っております。皆さん、ありがとうございました。

○副会長

皆さん、1年間お疲れさまでした。また、お忙しい中、このような計画をつくっていただきまして、ありがとうございました。

もともとの発端は、例えばブラック部活動みたいな言葉がここ数年叫ばれるような中で、部活動の仕組みを変えなきゃいけないというような流れからきているのかなと思いますが、根本的に考えれば、教員の働き方や給特法を含めた制度自体がよろしくないだけであって、そもそも部活動という仕組み自体は世界的に見ても類を見ないほど素晴らしい仕組みじゃないのかというふうに言われております。お金を払わなければスポーツができない地域もあれば、うまくなければスポーツができない地域がある中で、教育の仕組みの中で、ある程度等しく安いお金でスポーツができる、文化活動ができるという部活動という仕組みは、むしろ素晴らしい仕組みなのかなというふうに思います。

本来であれば、この仕組みが続いていただいたほうが良いとは思いますが、そうとは言っていない環境の中で、今回の計画の中でも今年度ですか、4月以降一つ、二つ、三つ、四つと外部委託ということで、外部移行ですか、連携ですか。いわゆる従来の教育の仕組み、部活の仕組みから外へ出ていくというような、現実的なことが起こる中で、ある意味そこで学校の中に残る、もしくは合同部活動で残る部活と外に出す部活動との間に、不公平感はないようにしていかなきゃいけないのかなというふうに思います。

当然これを見ると、いわゆる外にお願いする場合には費用負担だったり、保険負担だったりというものが出てくるというようなことも書かれていますので、何が外に出るのかと、当然これからの話だとは思いますが、そういったものを全部ばっとう出すということになれば、それはそれでいいのですが、これは今までどおりの仕組み、これは外に出るというような中で子どもたちに対する不公平感というものが、なるべくないような仕組みということを考えていかなきゃいけないのかなって、今後の話ですけど感じるところはありました。

やはり、例えばスポーツ保険であったりとか、当然学習指導要領の中で、学生たちがやりたければやれる環境をつくるということは、この仕組み自体はやっぱり続いているかなといけないうことになると思います。続くには、やはりお金という問題も当然関わってくると思いますので、そこにコストの部分に関してもしかり今後は考えていかなきゃいけないのかな。当然、区内の予算だけでは足りないものはいっぱいあると思いますので、それをどういう形で工面していくかということも考えていかなきゃいけないのかなと。

全国的に今、いくつか動いていますけど大抵のケース、動き始めているところの裏づけとしてはそれなりに予算が見込めているとか、予算があるとかというようなところが多いのかなというふうに思いますので、合わせてどうやってこれを続けていく仕組みにしていこうかということも、4月以降、やはり考えていかなきゃいけないのかなというふうに思いますので、ぜひ皆さんで知恵を出し合って続けていければなというふうに思います。

ありがとうございました。

○会長

委員の先生方、ありがとうございました。

事務局から全体を通して何かありますでしょうか。お願いします。

○事務局

委員の皆様、ご意見をありがとうございます。また1年間、本当にありがとうございました。

部活動のこの計画をつくるに当たっては、どういう形で進めていくか、どんな計画にするか、本当に最初は不安を抱えながらスタートしたところでございますけれども、委員の皆様が非常にお力をご協力をいただきながら、様々な知見をご紹介いただきながらまとめることができたというところで、大変感謝をしております。

今、ご紹介いただきましたように様々な課題、これがあるわけございまして、この計画では特に地域展開のところでございますけれども、地域主体の地域展開のところでございます。スポーツ1、文化1というようなところで掲げてございますけれども、これもちよっと状況を見ながら、今後どういうふうに進めるか考えていきたいというところでございまして、走りながら、進めながら、いろいろ課題も出てくるかなというふうに捉えてございますので、その中でまたどんな形か分かりませんが、皆さんのお力をいただきながら、解決しながら、整理しながら進めていきたいというふうに思っております。

いずれにいたしましても、部活動につきましては、これは子どもたちの責任感、自主性あるいは自立性、生徒同士の連帯感、これを育むための大きな役割を担っているというところでございます。区といたしましても、未来の見据えた持続的かつ発展的な、そうした部活動を目指して取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いしたいと存じます。

以上でございます。

○事務局

教育振興部長でございます。4回会議にご参加いただきまして、様々なご意見いただきました。本当にありがとうございます。

今のお話と違った切り口で。

今回パブリックコメントの実施結果で、意見提出者数44名、意見総数123件あります。44名だけと思われる方、いらっしゃるかもしれないんですけれども、区の計画、様々なパブリックコメントをやって、44名もの方からご意見が入るってほとんどないことです。どれだけ大きい計画をやっても、数名から意見総数百何件みたいな形で、たくさんのご意見が出てくるケースが多く、部活動の地域展開についてはやっぱり非常に意識が高いというか、目が向いているんだなということをすごく思いました。

今後の進め方については、やっぱりトライ・アンド・エラーみたいなところがあるというふうに思っておりまして、先ほど事務局のほうからも来年以降、また協議会みたいな形を設けて、様々なご意見をいただきながら、今回の反省の中でも後日の振り返りが必要であるということとか。あとは発展するために会議体があったほうが良いという話もありました。

あと、PTAの会長さんのほうからは生徒も置き去りにしないという話もありまし

たし、副会長のほうからは部活そのものは本来すばらしい仕組みだと。校長のほうからも、その頑張っている先生たちに、何かしらを出せばいいんだけどもというお話とか、先生のほうからはもうちょっといろいろ踏み込んだものにしてもらいたかったというご意見もありました。

教育振興部長としては今回、これから始めていくに当たって、導入時には失敗できない部分というところがあります。なので、そうした意味では結構守りの計画になってしまった部分はあるかなというふうに思いますけれども、実際やってみて直していく部分、よかったからそれを伸ばしていく部分、そうしたことは、これからだと思っていますので、今後につきましてはまたちょっと改めて会議体を設けさせていただきますけれども、皆様方からは、引き続き様々な場面でご指導いただければというふうに思っています。

いずれにいたしましても、計画を策定した今後がスタートというところになりますので、改めてご意見いただければと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

○会長

皆様、ありがとうございました。一応最後に私からも一言と言われているので、ご挨拶させていただきます。

1年近く、皆さん本当にご協力いただきまして、ありがとうございました。

副会長がスポーツ社会学のご専門というふうに伺っておりまして、逆に私は文化系枠でお声がけいただいたのかなと思っていますけれども、私はふだん大学で舞台とか演奏会を企画・制作する立場で、とはいえ中高生とはふだん部活に関わることもなければ、子どもの教育に知見を持っているわけではないという状況で、私でいいんでしょうかというやり取りも事務局とは最初したんですけれども。

ただ、皆様、委員の先生方が日々現場で地域と関わりながら活動されている方々で、この会議でも遠慮なくバンバン発言されるので、私としては本当大変ありがたかったというか、基本的には交通整備に徹しつつ、皆様が忌憚なく意見を言えるような土壌をつくれば、そのまま議論が進んでいったというような印象があるので、改めて感謝申し上げる次第です。

計画の策定に当たって、事務局のほうでも幾つかの自治体にヒアリングに行ったりとか、リサーチをかけたり、いろいろ尽力されたと思いますが、そういう事例はまだまだ少数だと思うんですね。なので、次はこの北区というものが一つのモデルになって、ほかの自治体から参考されるようなケースになればいいなと思っています。

あと最後に皆様から意見をいただきました。本当に生徒たち、先生たち、あと地域、いろんな立場がある中で、なかなか全てのリクエストをうまく満たすというのは難しいのかもしれませんが、教育振興部長のおっしゃったとおり、本格的に始動するのはあくまで来年度以降ということで、今年度はあくまでもその準備というか、地ならしという段階であると私は認識しておりますので、引き続き皆様のご協力をいただければ幸いです。

これをもちまして、検討会議を終了したいと思います。お忙しいところ、どうもありがとうございました。